

東京経済大学国際シンポジウム

# 自治しうる〈主体〉と〈場〉を問いなおす

—基礎自治体のサステナビリティとローカル・ガバナンスに関する国際シンポジウム—

日時: **2016年11月5日(土)・6日(日)** 9:30~(両日共)

会場: 東京経済大学 国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)

定員: 250名、参加費無料、事前申し込みをお願いいたします



【主催】

東京経済大学学術研究センター

【後援】

総務省

在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

ドイツ連邦共和国大使館

公益財団法人 日本都市センター

公益財団法人 トヨタ財団

日本自治学会

コミュニティ政策学会

NPO法人「日本で最も美しい村」連合



写真(上から):  
開田高原(長野県)  
コロンラーデ(ドイツ)  
リヨンス・ラ・フォレ(フランス)  
妻籠宿(長野県)

# 自治しうる〈主体〉と〈場〉を問いなおす

— 基礎自治体のサステナビリティとローカル・ガバナンスに関する国際シンポジウム —

## 【テーマ】

ローカル・ガバナンスの質を高め、基礎自治体のサステナビリティを確かなものにするには何が必要か  
— 日本・フランス・ドイツの小規模自治体における取り組みを手がかりに —

少子高齢化やグローバル化が進む中、さまざまな地域課題に直面している市町村が少なくありません。これからの地域や自治体の基盤を確かなものとするためには何が必要なのでしょう。また私たちには何が求められているのでしょうか。基礎自治体の「基礎」とは何か、「自治」とは何かについて、国内外の事例を手がかりにともに考えたいと思います。

## 【日程(予定、敬称略)】

### 第1日目(11月5日(土)) 9:30~17:10

「シンポジウムの問題意識」 羽貝正美 (東京経済大学 現代法学部 教授)

〔事例報告〕 海外 ティエリー・プルヴィエ (リヨン・ラ・フォレ市長、ノルマンディー州、フランス)

アンネ・ヴィルケンス＝リンデマン (コルンラーデ市長、ニーダーザクセン州、ドイツ)

国内 大目富美雄 (開田高原倶楽部事務局長、元木曾町職員:木曾町開田高原、長野県)

藤原義則 (公益財団法人 妻籠を愛する会常務理事:南木曾町妻籠、長野県)

案内: 羽貝正美、山崎仁朗 (岐阜大学 地域科学部 教授)

### 第2日目(11月6日(日)) 9:30~17:10

〔視点提起〕

1. 「自治の主体の危機と再構築の展望」 西 研 (東京医科大学 哲学教室 教授) + 羽貝正美

2. 「場(空間-社会構造)とローカル・ガバナンスの動的関係」

山田圭二郎 (金沢工業大学 環境・建築学部 准教授) + 藤倉英世 +

薩田英男 (薩田建築スタジオ 代表) + 鹿野正樹 (鹿野 都市・建築計画事務所 代表)

3. 「風土自治論の可能性」

中村良夫 (東京工業大学 名誉教授)

〔パネルディスカッション〕 パネリスト(予定): ティエリー・プルヴィエ、アンネ・ヴィルケンス＝リンデマン、大目富美雄、藤原義則、中村良夫、羽貝正美、山崎仁朗 ほか

ファシリテーター: 藤倉英世 (早稲田大学 公共政策研究所 招聘研究員)

【日時】 2016(平成28)年11月5日(土)・6日(日) 9:30~17:10(両日共)

【会場】 東京経済大学 国分寺キャンパス(右図)

大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)

【定員】 250名(定員に達し次第、締め切らせていただく場合があります)

参加費無料 (ご希望の方には別途冊子(500円)をご用意しております)

事前にお申し込みをお願いいたします。

【申し込み方法】 下記メールまたはFAXより、もしくは下記ウェブサイトからもお申し込みいただけます。

「国際シンポジウム参加希望」と明記の上、参加ご希望日(両日、○日のみなど)、ご氏名(ふりがな)、ご所属、ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレスなど)をお知らせください。(なお、個人情報は本シンポジウムに関する連絡以外には使用いたしません)

【問い合わせ先】 東京経済大学国際シンポジウム事務局

185-0021 東京都国分寺市南町1-7-34

東京経済大学 現代法学部 羽貝研究室内

FAX:042-328-7774(教員室) メール:localgv@tku.ac.jp ウェブサイト: <http://www.tku.ac.jp/>

【主催】 東京経済大学 学術研究センター

〔実行委員会〕

委員長 羽貝正美 (現代法学部教授) / 委員 磯野弥生 (現代法学部教授)、森反章夫 (現代法学部教授)

